

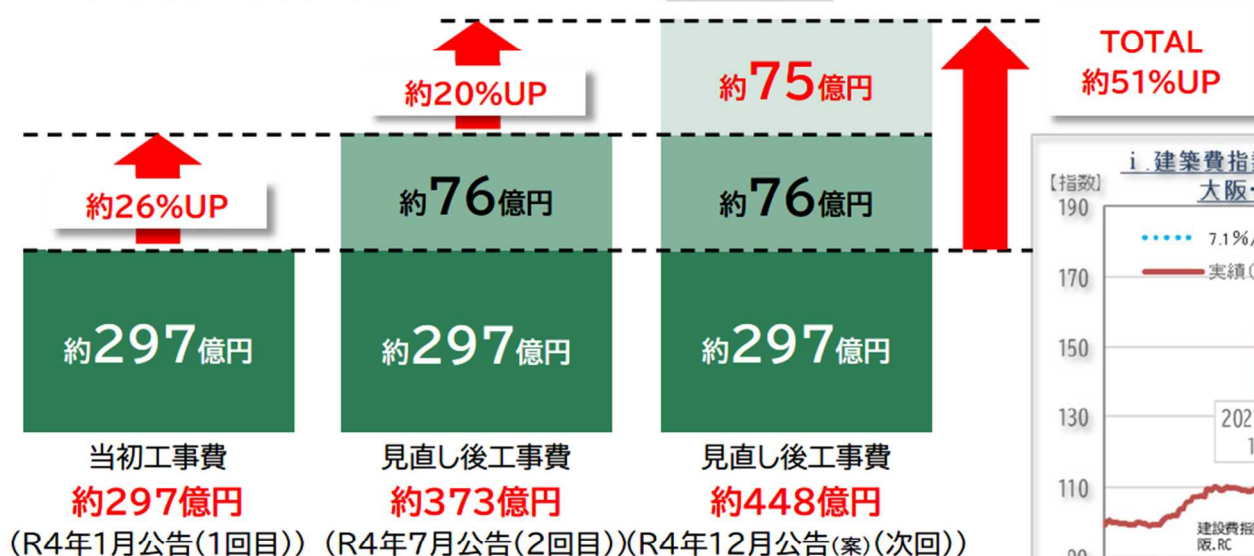
統合新病院整備事業

～建設費の高騰等が与える今後の工事費への影響について～

1) 工事費増嵩の見込み（当初想定 R4.12特別委員会 時点）

3. 次回入札に向けた概算工事費の見直し及び財源の確保について

1) 概算工事費の見直しについて… 約75億円



2) 今後の物価上昇への対応について… 約40億円

今後の工期(約5年間)で工事費が約40億円増嵩の可能性あり。(約7.1%/年の物価上昇を想定)

【1.2の合計約115億円に対応するための既存財源の活用、新たな財源の確保等について】

I. 既存財源の活用… 約44億円

6月補正時に、今後見込まれる物価上昇等に対応するため、診療報酬改定等により見込んでいた財源の活用

①補助金等の増加 約30億円 ②診療報酬の改定 約90億円 ①②合計 約120億円－76億円＝約44億円

Ⅱ. 新たな財源の確保等… 約71億円

なお生じる財源不足に対して、ボート、基金等の財源を活用した一般会計からの補助 → 約71億円

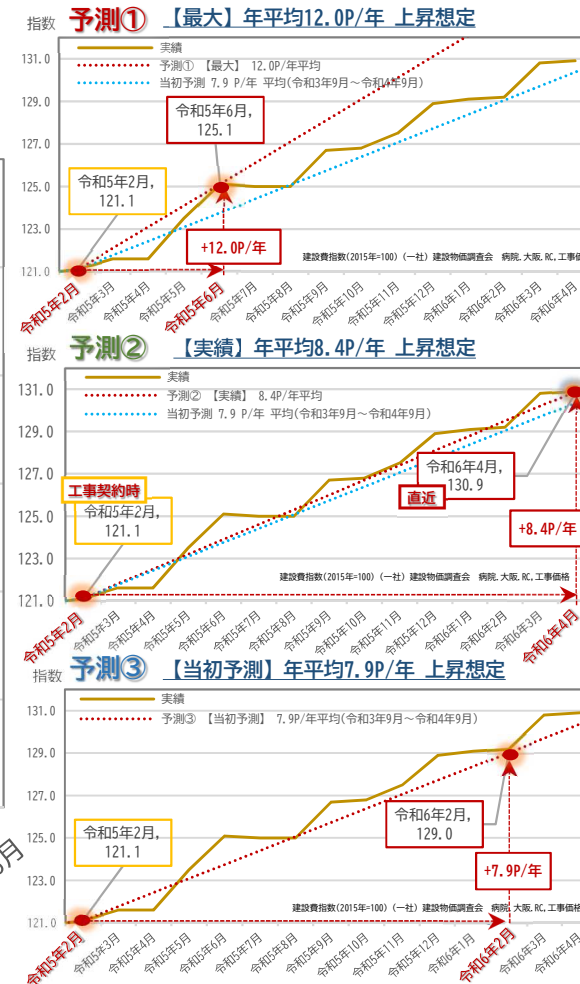
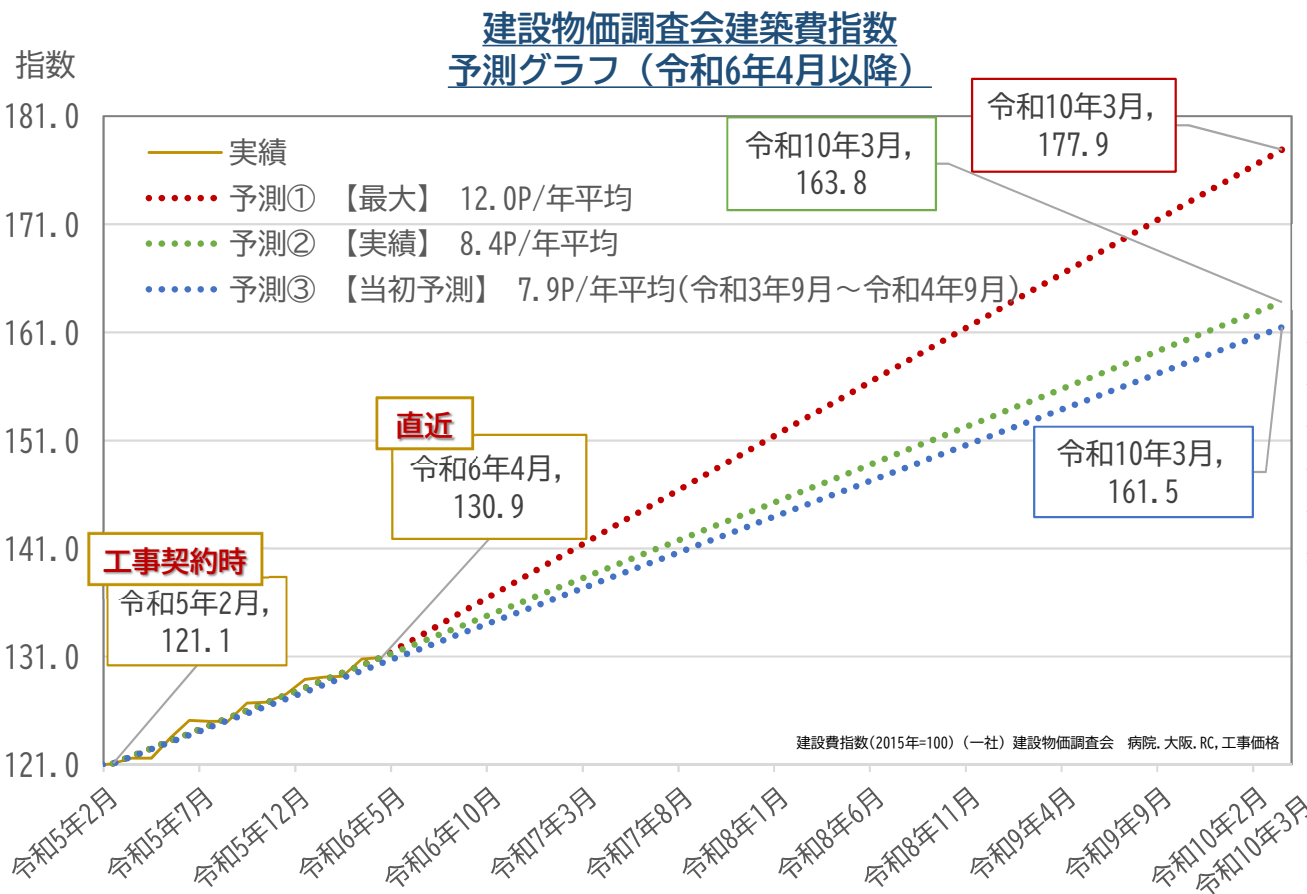
➡ 以上Ⅰ、Ⅱによる財源の活用等により、事業費の増嵩に加え、今後見込まれるさらなる物価上昇にも対応

➤ 今後の物価上昇への
対応として約40億円

(39.3億)を想定

➤ 令和3年9月～令和4年
9月の実績上昇率を基
に算定

2) 建築費指数の今後の見通しと工事費に与える影響額の試算



工事費影響額
→ 約66億円
(当初比較 + 約26億円)

工事費影響額
→ 約52億円
(当初比較 + 約12億円)

工事費影響額
→ 約50億円
(当初比較 + 約10億円)

- 建築費指数の直近推移に基づき、上左グラフのとおり、建築費指数の今後の見通しを予測。
- 当該予測に基づき、スライド条項が適用された場合の工事費に与える影響額を試算。
- 試算の結果、前頁の当初想定額(約40億円)より、さらに10～26億円程度の工事費増額の可能性。

3) さらなる工事費増嵩の可能性の要因

1. 建設工事価格の継続的な高騰

I. 労務コストの上昇

- ① 公共工事設計労務単価の上昇
- ② 人手不足
- ③ 働き方改革の推進

II. 資材コストの上昇

- ① 円安
- ② 電気料金の高騰
- ③ 世界情勢不安
- ④ 物流の2024年問題

III. 設備工事費の上昇

- ① 半導体工場とデータセンター
の建設ラッシュ

2. 継続費年割額の変更による残工事費の増額

款	項	事業名	補正前			補正後		
			総額	年度	年割額	総額	年度	年割額
資本的支出	建設改良費	統合再編基幹病院 整備事業	44,657,172千円	令和3年度	1,823,500千円	44,692,472千円	令和3年度	1,823,500千円
				令和4年度	745,390千円		令和4年度	745,390千円
				令和5年度	10,127,127千円		令和5年度	7,050,795千円
				令和6年度	15,241,748千円		令和6年度	12,279,358千円
				令和7年度	11,389,397千円		令和7年度	13,057,875千円
				令和8年度	4,510,525千円		令和8年度	7,774,375千円
				令和9年度	819,485千円		令和9年度	1,961,179千円
		統合再編基幹病院 整備事業 (工事監理委託)	751,000千円	令和4年度	43,201千円	751,000千円	令和4年度	43,201千円
				令和5年度	170,308千円		令和5年度	117,980千円
				令和6年度	256,321千円		令和6年度	206,503千円
				令和7年度	191,535千円		令和7年度	219,595千円
				令和8年度	75,853千円		令和8年度	130,742千円
				令和9年度	13,782千円		令和9年度	32,979千円

令和6年(2024年)第1回市議会定例会議案(1) 議案第5号 令和5年度伊丹市病院事業会計補正予算(第1号)抜粋



工事の進捗状況を反映した結果、スライド条項適用後の
工事費算定の基準となる**残工事費が増額**するもの